

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		公共施設等マネジメント事業費[公の施設の管理運営のあり方検討事業]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	10	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント 課		公共施設等マネジメント 係		課長名		遠藤和夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	123		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①指定管理者制度導入移行計画において、指定管理者制度導入を検討する施設 ②指定管理者制度を導入している施設				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①指定管理者制度導入を検討する施設のうち導入していない公の施設の数：施設 ②指定管理者制度を導入している施設の数：施設				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①指定管理者制度が導入される。 ②施設が適正に管理運営されている。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①民間活力導入を検討する施設のうち導入された公の施設の数：施設 ②指定管理者制度を導入している施設で評価が行われた施設：施設				
	③ そのために何をしましたか。 ①公の施設の管理運営のあり方検討委員会の開催 ②指定管理者の事業内容評価を行うための指定管理者選定委員会の開催 ③指定期間満了による次期指定管理者を選定するための指定管理者選定委員会の開催				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①公の施設の管理運営のあり方検討委員会の開催回数：回 ②指定管理者選定委員会(事業内容評価)の開催回数：回 ③指定管理者選定委員会の開催回数：回				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	施設	①4 ②5	①4 ②5	①4 ②5			
	成果指標	②の数値	施設	①0 ②5	①0 ②5	①0 ②5			
	目 標	②の目標値	施設	①4 ②5	①4 ②5	①4 ②5			
目標値設定の考え方 ①公の施設において指定管理者制度の導入が進むこと。②指定管理者制度が導入されているすべての公の施設で評価が行われること。									
3 経費	活動指標	③の数値	回	①0 ②2 ③5	①0 ②2 ③4	①0 ②1 ③4			
	事業費(実績)		円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	0	0	0			
		特定財源	円	0	0	0			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.9	0.3	0.3			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	7,427,700	2,473,200	2,493,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	7,427,700	2,473,200	2,493,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度		18 年度						
	(2) 環境の変化 公の施設の管理運営のあり方検討委員会の設置後、平成18年度に、在宅サービスセンター(2か所)、高齢者ほっと支援センター(1か所)に指定管理者制度を導入。平成21年度は市民会館、平成22年度は体育施設等【市民体育館、市民プール、上仲原公園野球場(陸上競技場含む)、上仲原公園テニスコート】に指定管理者制度を順次導入した。 また、指定管理者制度導入施設においては、指定管理期間の更新時期にあわせて、次期指定管理者の選定を行っている。								

事業名称	公共施設等マネジメント事業費[公の施設の管理運営のあり方検討事業]			
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント	課	公共施設等マネジメント	係 課長名 遠藤和夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	引き続き、指定管理者制度等第2次移行計画に基づき、調査、研究を進めている各施設の所管部の進捗状況を確認し、適切に情報を提供する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	指定管理者制度等第2次移行計画に基づき、調査、研究を進めている各施設の所管部の進捗状況を確認すること。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 指定管理者制度導入や施設のあり方について調査、研究を進めている所管部の進捗状況を確認し、必要に応じて、検討委員会を開催し情報の共有を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	公の施設への指定管理者制度の導入に際しては、施設の目的を効果的に効率的に達成できるかどうかなど、様々な角度から情報収集をし、所管部と情報を共有しながら方向性を決定していく。			